

株式会社 カワマタテック

DX宣言書

2025年4月30日
株式会社 カワマタテック
代表取締役 川又 徳則

□ 経営理念

私たちは、透き通る風や元気をくれる太陽、晴れた日の心地よさを感じられる、もう一つの「リビング」としての「庭」をお客さまに提供します
積雪の多い地域だからこそ求められる機能やデザインを大切に、エクステリア全般を手掛け、自然との調和を重視した居心地の良い空間を創造します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術による業務効率化を推進し、社員が強みを活かして働ける環境を整え、より多くのニーズに応えられる組織を構築します
- ◆ SNSやデジタルマーケティングを活用した採用強化および販路拡大により、新規事業展開と収益性向上を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年10月)

戦略 「業務効率化およびデジタルツール利活用の基盤づくり」

- 施策
- ・ 業務効率化に向けて、業務フローの見直しおよび最適化を実施
 - ・ 作業時間短縮のため、紙での日報管理等、デジタル化可能な業務をアプリやシステムで効率化
 - ・ システムをスムーズに導入・定着させるため、利用マニュアルを整備し、必要に応じてフォローアップ研修を開催
 - ・ 導入したシステムを各業務にも展開し、業務効率化を推進

➤ フェーズ2(2025年11月 ～ 2026年4月)

戦略 「情報発信とデータ活用による採用・販売戦略の進化」

- 施策
- ・ 未経験者を含む若手採用の強化に向けて、事業紹介や社員の声をHP・SNSへ掲載し情報を発信
 - ・ 顧客ニーズの把握とサービス改善に向けて、Webアンケートの実施等により顧客データを収集
 - ・ 収集した顧客データと市場動向を分析し、販売戦略の精度を向上

➤ フェーズ3(2026年5月 ～ 2028年4月)

戦略 「デジタル技術を駆使し、販路拡大と生産性および収益性の向上」

- 施策
- ・ 県外現場からも参加可能なオンライン勉強会を実施する等、社員のスキル向上をサポート
 - ・ 稼働率向上に向けて、AR(拡張現実)によるバーチャルシミュレーションを活用して現地調査等の移動を効率化
 - ・ 遠方案件の受注獲得にむけて、リモートコンサルティングサービスの提供体制を構築
 - ・ 上記施策を実行し、業務効率・収益性を高め、持続的な成長基盤を確立

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます

□ DX推進目標

- ・ 事務作業時間 : 2024年度比 30%短縮(～2027年3月)
- ・ 資格取得者 : 2名増(～2028年4月)
- ・ 新規採用 : 3名採用(～2028年4月)